



持続可能な交通システム を実現するためのEBRD 補助金

ルーマニア・アラド

要約

路面電車のインフラネットワークの修復に多額の投資を行った後、地方政府はエネルギー効率の高い路面電車6台を導入し、路面電車の車両の更新を開始した。また、市は主要駅の近代化に着手し、電子発券システムの導入と県バス輸送サービスのアウトソーシングに向けた第一歩を踏み出した。

持続可能なモビリティに取り組む都市

ヨーロッパの主要な汎ヨーロッパ道路と鉄道の回廊の一つに位置するアラド市は、豊かな建築遺産と、主にムレシュ川による豊かな自然環境に恵まれた、ルーマニアで最もダイナミックな都市の一つである。

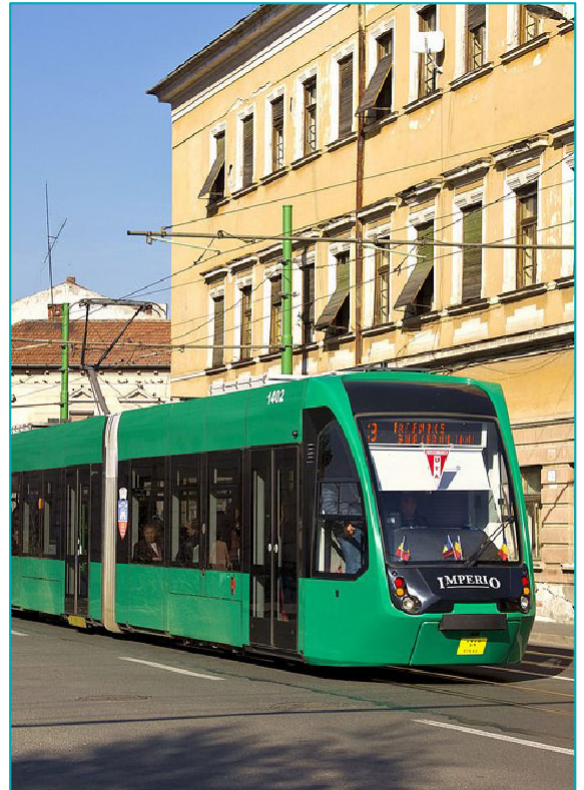
アラド市は伝統的に路面電車の街であり、ルーマニアではブカレスト（171km）に次いで最大のネットワークを持ち、その範囲とアクセスの良さで知られている。また最近では、アラドは自転車の街にもなっており、国内最長の自転車専用レーンの都市ネットワーク（135km）が展開され、全国で最も高い自転車利用率（8.2%）を誇る。

過去数年の間に、地方行政は環境に配慮した一連の戦略と持続可能な都市モビリティ計画を策定した。アラドは、2020年までに炭素排出量を23%削減することを約束しており、近い将来、CO₂/GHG排出量を少なくとも40%削減するという首長誓約2030の目標に署名することを計画している。

2005年から2014年までの間に、23.24kmの路面電車が、払い戻し可能あるいは払い戻し不可能な外国資金、および地方予算から資金調達されたさまざまなプログラムの下で改修された。

アラド都市交通プロジェクト

アラド市都市交通プロジェクトは、2006年から2013年の間に2段階で実施された大規模な路面電車のインフラ改修プロジェクトである。路面電車の長い伝統と既存のインフラの拡張により、市は他の交通システムよりも路面電車に投資することとなった。このプロジェクトは、重要な社会的・環境的利益を伴うプロジェクトを推進するという戦略的目標の下、環境基準の遵守の保証人である欧州復興開発銀行（EBRD）から付与された2件の融資から資金を調達した。



アラドの高エネルギー効率路面電車

「Imperio」

アラド



人口：
172,827

面積：
46.18 km²

首長誓約署名年：
2010

CO₂排出削減目標：
2020年までに
2008年比で
23%減

インフラの改修を目的とした最初の二段階のプロジェクトの成功を受けて、アラド市とEBRDは2012年に第三段階として、新型路面電車の調達、路面電車発着所の改修、電子発券システムの導入、都市間バス路線のバス輸送の改善に焦点を当てたプロジェクトを開始した。

新しい習慣を形にする新交通システム

2014年には新しいエネルギー効率の良い路面電車が6種調達され、都市部で最も長い路線の1つである路線番号3で運行されている。その消費電力は1kmあたり約1.6kWであり、入札要件は1.8以下であった。自治体は、このプロジェクトの恩恵により、交通システムにおける路面電車の役割に対する住民の態度が根本的に変わることを期待している。

既存の路面電車にアクセスが改善された新しい路面電車が追加され、ルートと時刻表を最適化するために設計された発券システムが導入されることで、アラドでは公共交通機関が広く利用されることが期待されている。これは環境へのプラスの影響をもたらすもので、今後数ヶ月間は注視されることになるであろう。チケット価格は、地方自治体からの補助金のおかげで、近代化によって影響を受けることはなかった。運賃を上げるのではなく、サービスを改善することで、自治体はより多くの人々が公共交通機関を利用し、投資に対するリターンを確保することを期待している。

2017年9月14日には路面電車乗り場の近代化のための契約書が締結された。

また、地元の行政は、地元の交通事業者による他の効率的な移動手段への投資を引き続き支援している。これらのプロジェクトの目的は、乗客の快適性と安全性を向上させ、移動能力の低下した人々が容易にアクセスできるようにすることである。例えば、自治体は以下の事業を開始した。

- ・電気車両（路面電車10台）の調達 - 2018年から2020年
- ・大型低燃費バス（30台）の調達 - 2018年から2020年。
- ・小型低燃費バスの調達（最大€3,000,000） - 2017年から2023年。
- ・電気バス（5台）の調達 - 2017年から2018年。

なお、20台のGT6とGT8のトラムを近代化するための投資も開始されており、運動能力の低下した人たちにも対応できるようになっている。

重要データ

2006年から2013年までに

23km の路面電車線路が改修

2014年に**6**台の路面電車を調達

2015年現在プロジェクトにより
10,603t CO₂eq./a削減

（情報源：卓越性ベンチマーク）



プロジェクトの資金調達

- **資金源：**
第三段階 (2012)
- EBRDからのローン: 7,248,101ユーロ
- 地方予算: 1,739,544ユーロ
- **総額：**
8,144,445ユーロ
- **資金改修期間：**
全てのローンは地方予算で返済。
第一段階のローンはすでに払い戻され、他の二段階は払い戻しの途中である。

役立つリンク

- ▶ 首長誓約におけるアラドのプロファイル: <http://bit.ly/2BGEkU0>
- ▶ アラド都市交通システム(EBRD): <http://bit.ly/2qig4Dx> Arad
- ▶ 持続可能な都市交通計画2010-2020 (Romanian):
<http://bit.ly/2EfsCS6>



問合せ

プロジェクトの詳細の問合せ先: Laura Bocancios,
Head of the European Programmes Department

lbocancios@primariaarad.ro